

# NMN 点滴の安全性の検討

キーワード：NMN（ニコチンアミドモノヌクレオチド）

医療法人社団ケーイー ふるたクリニック 理事長  
古田 一徳



## 目的

当院に通院するお客様に NMN の静脈投与を行った結果、副作用、安全性などを検討しました。

## 対象

対象は、NMN 点滴を開始した令和 2 年（2020 年）3 月から最近の令和 5 年（2023 年）6 月までの約 2 年 5 ヶ月間の投与症例です。

## 投与方法（点滴の方法）

NMN 点滴バイアル、ディープフリーザーにてマイナス 80 度で保存しておいたものを、点滴時に自然解凍しました。使用投与量により、1 バイアル（5 ml）100 mg、2 バイアル（10 ml）200 mg、3 バイアル（15 ml）300 mg のものを大塚生理食塩水 100 ml バックにいれて、点滴時間は一律に 15 分間で、静脈点滴にて投与しました。点滴の針は、サーフロー 24G または 22G 針を使用しました。

点滴の最後にボトル内を生食 20 ml で洗浄（共洗いの要領）をして滴下し終了しました。

## 結果

NMN 点滴総バイアル使用数 2083 本、総点滴回数 1649 回でした。

年齢は 23 歳から 72 歳、平均 55.6 歳でした。性別では男性 18 人、女性 22 人でした。

点滴使用バイアル内容ですが、1 バイアル 100 mg のボトルで、

1 バイアル使用 回数 1287 回（1287 本使用）、2 バイアル使用 回数 263 回（526 本使用）

3 バイアル使用 回数 90 回（270 本使用）でした。

## 副作用症例

重篤なものはありませんでした。点滴開直後の軽度血管痛を訴えた症例 3 例（いずれも 3 バイアルでの点滴の時で点滴速度を遅くしたら痛みはなくなりました）。

点滴直後の上肢の違和感が出現したもの 2 例（2 バイアルの点滴の 2 例で 10 分の経過観察で消失しました）。点滴後の体調不良を訴えた方はいませんでした。

## 血液検査での経過観察

点滴を繰り返してされる方がほとんどですが、継続的に血液検査をされている中で、肝機能障害、腎機能障害、アレルギー症状などの症例はみられませんでした。